

ニ高潮ニ達シテ居ル世界の階級闘争ノ氣運ハ歐州
大戦後漸クニシテ自黨ニル我國無産階級ノ少数分
子ヲシテ其ノ思想的水準ヲ急激ニ高メシメタガ一
方ニ於テ勞働組合ノ無産階級解放運動ニ於テハ
亦ト幾分トテ充分ニ認識スル事ヲ得テカツタ
斯クノ如キ形勢ハ必然的ニ無産階級運動ノ大変化
ヲ函蓋ナラシメ理想ニ燃エル小教者ノ運動ヲ動ヤ
之ニレバ潔癖ト云フニ傾カシムルニ至ツタノデア
ル我等ハ適云ニ於ケル我國勞働運動ノ過程ハ必然
的ニ我國資本主義ノ差別的發展ニ應ジタルモノナ
ルコトヲ斷言スルベシトモ差レ吾等が今後猶依然
トシテ旧来ノ態度ヲ保持スルナラバソレヲ大ナ

ル誤リデアリ、過失ヲ犯スモノデアリ、
何故ナラバ今や我等ハ過云ニ於ケルヨリモ其政策
ヲヨリ現実化シ積極的ニテテテバテラヌ、仔細ニ追
ラレテ居ル而シテ其ノ必要ハ最近ニ於ケル我國資
本主義ノ示シツ、アル傾向ト勞働階級ノ勢力ノ増
大ヲ吾等が正確ニ觀察スル事ヲ得タカラデアリ
茲が國勞働組合運動ハ少数者ノ運動力ヲ輕シテ大
衆的運動ニ向フベキ一階段ニ到達シタノデアリ改
良的政策ニ對スル従来の積極的態度ハ積極的ニ之
ヲ利用スルコトニ改メラレテケレバテラヌ、例ハバ
ブルゲンニテ議會ニ依ラテ勞働階級ノ根本的解放ヲ
獲得スル前ニテハ勿論ナレドモ普選實施後ニ